



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：[kyousan@jcp-yachiyo.jp](mailto:kyousan@jcp-yachiyo.jp)

日本共産党  
八千代市議団  
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第594号

2023年6月5日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 制服の在り方へのアンケート結果は

校則の見直しの中でも大きなウエイトを占めているのが制服です。そこで、八千代市教育委員会は昨年(7月6日~7月20日)、奨励服(制服)の機能性や価格、性の多様性を理解する人権意識の観点等から奨励服(制服)の在り方を協議するためにアンケート調査を行いました。

●アンケートの設問内容は下記の4件です。

①奨励服(制服)はどの場面で着用した方がいいと思いますか。

②奨励服(制服)を見直す必要がありますか。

③奨励服(制服)の必要性をどう思いますか。

④奨励服(制服)のどこを見直す必要があると思いますか。

・調査対象：小学5年生から中学3年生までの児童生徒及び保護者(学年各400名)、教職員

※市内30校の各学年児童生徒数の約25%を必要数として抽出

・回答数：小学生2162人、中学生2093人、保護者3024人、教職員367人

アンケートの結果は  
八千代市教育委員会  
のホームページから



## 教育委員会は見直しの声に応えるべき

アンケートでは半数以上の方が見直す必要性がありと回答しています。その主な理由として、児童生徒からは寒暖時の対応のしやすさ、保護者は価格、教職員は多様な性の考え方に対する配慮、というものです。

制服に関する相談では、日本共産党市議団へも「小学校は私服なのになぜ中学生は制服なのか」「制服の費用が高すぎる」といった声が届いています。

教育委員会はこの結果を受け、見直しに向けて直ちに動くべきです。

●表：設問②「奨励服(制服)を見直す必要がありますか」の回答

見直す必要性は	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
5.6年生	19.4	22.9	29.4	28.3
中学生	25.6	25.1	26.4	22.9
5.6年生の保護者	34.0	29.8	27.0	9.2
中学生の保護者	33.7	30.0	25.2	11.1
小学校教職員	27.6	28.5	32.6	11.3
中学校教職員	34.9	32.2	24.7	8.2

## 一人ひとりを大切に、笑顔あふれる学校に

中学校の生徒の校則(「決まり」「約束」)は絶えず見直しを行うことが求められています。そのためには、校則の内容を普段から学校内外の関係者が参照できるように学校のホームページ等に公開しておくことです。現在11校中1校のみ公開。

校則は最終的に校長により制定されるものであり、校長の責任で校則をなくすこともできます。実際に世田谷区立桜ヶ丘中学校のように校則や定期テストをなくした学校もあります。

その一方で、八千代市では決まり事が増え、細かくなっているのではないのでしょうか。これではますます子どもたちが息苦しくなってしまいます。

日本共産党は、誰もが笑顔で輝く学校にするために、先生・保護者のみなさんや地域の方々と共に頑張ります。